

# ちばZOO

どうぶつ公園ニュース



タンチョウ

## 目次

|                  |   |                          |   |
|------------------|---|--------------------------|---|
| 🐾 Director's Eye | 1 | 🐾 動物公園の植物                | 5 |
| 🐾 日本を代表する鳥       |   | 「お正月の植物」                 |   |
| 🐾 アジアスギウの人工授精    | 2 | 🐾 動物病院から                 |   |
| 🐾 特別展「ペンギンづくし」   | 3 | 「感じてみよう～動物のホネ、わたしたちのホネ～」 |   |
| 🐾 飼育よもやま話        | 4 | 🐾 動物公園 diary             | 6 |
| 「コツメカワウソの子ども達」   |   | 🐾 お知らせ                   | 7 |
| 🐾 動物公園の動物        |   |                          |   |
| 「日本のカメ」          |   |                          |   |





## Director's Eye

### 『格物究理』

新年、明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いいたします。



さて、前号で触れた「教育普及事業」についてご紹介します。

文字通り、動物及び動物の生態等に関する教育的な

普及活動です。具体的には、小学校等へ訪問しての「出張授業」、飼育作業等を体験したり、バックヤードを見学する「親子で飼育体験」や「サマースクール」。また、園内を回遊し、楽しみながら動物の特徴等について学ぶ「クイズラリー」。さらに、市内の科学館、博物館、美術館等と連携しての各種普及イベントなどを開催しています。

様々な機会を通して、動物に関心や興味を持っていただく「きっかけづくり」として行っているもので、「科学に興味を持つ」「科学的に考える能力を養う」「動物との触れ合いから情操心を養う」ことなどを目的としています。開催に当たっては、「市政だより」「当園のホームページ」「園内のポスター・チラシ」そして「ホームページ内の園長日記」等でお知らせしています。機会がありましたら、是非ご参加ください。

(園長 朝生智明)



## 日本を代表する鳥

### ～タンチョウ～



岸駒《鶴図》千葉市美術館蔵  
江戸時代、天明2年(1782)  
絹本着色一幅

2013年最初に表紙を飾るのは、タンチョウです。当園では鳥類・水系ゾーンの水禽池でカモ達と一緒に飼育しています。

タンチョウといえば長寿のイメージでみなさんに愛されていますが、それは今に始まったことではありません。古くは奈良時代に土器の模様のモチーフになったことに始まり、江戸時代は花鳥画の冬を代表するモチーフとして大変人気があり、多くの作品が描かれています。また、昔話や紙幣、コーポレートマーク

などにも数多く採用されており、現在でも私達に身近な存在の鳥です。

しかし現在は、国内では北海道の限られた場所で見られなくなっています。江戸時代には広い範囲に生息し、岡山まで飛来していた記録もありますが、江戸時代末期から明治時代後期にかけての乱獲や開発が原因で、昭和27年には33羽にまで生息数が減ってしまいました。現在は保護活動により約1,200羽(H24年1月現在)までその数を回復しています。

しかし、その数はまだまだ「やっと絶滅の危機を脱することができそうな程度」にすぎませんし、冬季に人の手による餌やりなどの保護活動を行うことで数を維持できている状態です。

この機会に、みなさんがタンチョウへの関心を持ち、保護活動に理解をいただくことが我が国を代表する、タンチョウの明るい未来に繋がり、再び北海道以外でも見られるようになるかもしれません。

(鳥類・水系ゾーン担当 石田郁貴)

# アジアスイギュウの人工授精



動物園には様々な動物がいます。その中には、野生で絶滅の危機にある種もあります。自然の中では生息が難しくなってしまったそのような動物を飼育し、種としての絶滅を防ぐ「種の保存」も動物園の大切な役割の一つです。日本では、トキやコウノトリにおける取り組みが有名です。

動物園で飼育している種の中には、日本、あるいは世界の動物園全体でも飼育数が限られている場合があります。新しく導入することが出来ず、繁殖しても血縁が濃くなり、様々な障害が起こり得ます。それを防ぐためには、計画的な繁殖計画を進めることはもちろん、人工授精技術を向上させていくことが重要です。

今回、当園では初めての人工授精をアジアスイギュウで行いましたので、それをご紹介します。

アジアスイギュウは主に東南アジアの家畜です。日本では沖縄で観光用に牛車を引いている姿を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。アジアスイギュウは国内の動物園ではそれほど多く飼育されていません。当園でも雄が死亡して以来、雌を単独で飼育してきました。このままでは子どもが生まれなため、家畜牛の人工授精技術を応用し、凍結精液を用いた人工授精を行うことにしました。



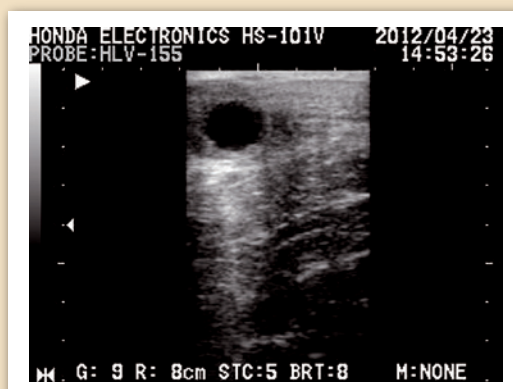
今回の凍結精液は、「独立行政法人農業生物資源研究所」に保存されていたものを、遺伝資源配布事業を活用して譲り受けました。また、人工授精に際しては、日本大学の先生方にご協力いただいて実施しました。

このアジアスイギュウはこれまで人に馴らしてこなかったため、急に抑えつけようとしてもできません。体重約 500kg にも及ぶアジアスイギュウの力は非常に強く、大人の男性飼育係が 10 人がかりになってもかき止めることができません。そこで、鎮静剤を注射し、おとなしくしてからロープで保定して行いました。

人工授精を行ってから約 2 ヶ月後に再び鎮静をかけて、妊娠鑑定を行いました。残念ながら妊娠はしていませんでした。妊娠に至らなかった原因として、加齢に伴う生殖能力の低下が考えられます。アジアスイギュウの寿命は 25 年程度なのですが、この個体は 14 歳になるまで一度も子どもを産んだことがなかったことが影響しているのかもしれません。

今回は残念な結果になってしまいましたが、人工授精を含めた繁殖技術の向上は動物園にとっては不可欠なものであるため、今後他の種についても取り組んでいきます。

最後に、ちょっとしたエピソードを。このアジアスイギュウは「モームス」という名前です。ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、隠れた人気者です。のんびり寝ていることが多いですが、食いしん坊で意外と活発です。飼育担当者ではない私が呼びかけてもけっこう構ってくれます。そんなモームスでしたが、人工授精に取り組んで以降、獣医の私を見る彼女の眼が一変してしまいました。ホルモン剤や鎮静剤を何度も注射したからです。注射をしないときでも、私を見ると緊張している様子が伝わってきます。他の動物だとむしろ怖がってしまう場合が多いのですが、モームスの場合はジッと疑り深い眼差しを私に向けます。動物でも、そんな眼で見られるのは辛いもの。なんとか仲直りしたいものですが、モームスはなかなか許してくれそうにありません。（診療担当 堀泰洋）



卵巣のエコー画像（黒い円として写っているのが卵胞です）



## 特別展

# ペンギンづくし

1月2日から、動物科学館内で、長崎ペンギン水族館とペンギン会議(注)のご協力を得て、特別展「ペンギンづくし」を開催しています。

ペンギンは南半球だけに見られる鳥類で、その種類は18種が知られています。

氷の上で生活しているイメージがありますが、南極だけではなく、亜南極から寒流沿いに北上するように分布しています。また、もともとはニュージーランドを起源として進化していったことが知られています。

今回の特別展では、様々なペンギンたちの野生での暮らしぶりをご紹介します。一部をご紹介します。



これは  
キガシラペンギン。  
住んでいるところは、ニュージーランド。現地では、本来の繁殖地である森や茂みが伐採されているんだ。だから、今では絶滅の恐れが心配されているよ。



海から  
上がって一休みして  
いるのはマゼランペンギン。  
南米南端のマゼラン海峡付近に  
暮らしているんだ。最近  
はタンカーの事故で重油を浴びて  
たくさんの仲間が  
死んでいるよ。



こちらは  
イワトビペンギン。  
名前の通り、岩場をピョンピョン  
飛び跳ねて歩くんだ。  
巣は茂みの下や岩のくぼみに作るよ。  
最近ではエサとなるイカや小魚  
などの乱獲で、数が減ってきて  
いるよ。



(注：ペンギン会議…ペンギンの保全や、動物園・水族館で働くペンギン飼育担当者を中心に、互いの情報交換を目的として設立された任意団体です。)

(草原ゾーン担当 高橋宏之)





## 飼育もやま話

今年のコツメカワウソの出産は、予想していたより遅く、9月に入ってからでした。

いままでに生まれた子どもがたくさんいて、今年は産まないのだろうと思っていたところ、9月に入り、チイコのお腹に少し膨らみが…。20日頃には、はち切れんばかりのお腹になりました。

27日の朝カワウソの寝室にいくと、「ピーピー」といういつもと違う鳴き声。すぐにカワウソ達を展示場に出しましたが、父親のポンタだけが展示場に出ません。とりあえず子どもの確認をしようと、部屋の中の箱のふたをあけてみると、ポンタが「フーフー」と威嚇してきます。今回も出産にあたり必死に子どもを守る父親ぶり。一方、母親のチイコは、食事時間になると、子どもを



# コツメカワウソの子ども達

置いて餌を食べに行ってしまう、マイペースぶりでした。

翌日、カワウソを展示場に出すとポンタも展示場に出たので、子どもをじっくり観察したところ5頭生まれていました。これで2010年生まれが3頭、2011年生まれが4頭いて、総勢14頭の大所帯になりました。これだけの大家族を一度に見られることはなかなかありません。

その後もポンタは子ども達から離れないことが多く、子どもの様子はなかなか見ることができません。週一回の池そうじの後、カワウソを展示場に出し、ポンタも一緒に出た時がチャンス。子どもの観察や、写真撮影をします。

生後3カ月を過ぎた今、子ども達は、よろよろと自分で歩いて展示場に出て、兄弟達に砂まみれにされたり、泳ぎの訓練のため水につけられたりしながら、群れ生活の中で一人前のカワウソに成長していきます。このニュースが出る頃には5頭の子も泳げるようになり、兄弟達と一緒に泳いでドジョウを捕まえている姿をご覧ください。

是非一度レッサーパンダ舎隣のカワウソ展示場にお越しください。  
(小動物ゾーン担当 鈴木克典)



## 動物公園の動物



温帯に暮らす爬虫類のほとんどは、寒い冬を乗り切るため、冬眠をします。冬になる前に、餌をたくさん採り、脂肪を蓄え、徐々に心拍数や呼吸を減らして代謝を極端に抑え、いわば仮死状態で冬を越すのです。

当園の子ども動物園では4種のカメを展示しています。このうち日本在来種のクサガメとイシガメは、夏のうちにたっぷり給餌したのち、最高気温が15度を下回る11月中旬から、池に藁や落ち葉を沈めて冬眠に備えます。冬眠中であっても、水中の酸素を皮膚や腸管で採り入れて、呼吸を続けていますし、暖かな日中、ふわっと水面に浮いてきて日光浴をしていることもあります。

ところで、日本人にとってカメとはどのような生きものなのでしょうか？実は、日本在来種の身近なカメは、イシガメとスッポンだったようで、縄文・弥生の遺跡の調査においても、クサガメは出土していません。江戸時代の本草書(『本草綱目啓蒙』)で初めて登場したとされ、どうやら、中国から持ちこまれた「移入種」のようです。とすれば、古代、占いに用いられた「亀甲」とは、イシガメのものだったと言えます。

また、「亀甲模様」は、六角形の整然とした並びの模様のこと、食器や手ぬぐいなど、身近なところでよく目に

# 日本のカメ

しますが、おめでたい模様として知られています。古来より、カメといえばツルと並んで「めでたい動物」の代表格であるのはみなさんもお存じのことですね。

そして、和歌や俳句で「亀鳴く」は、春の季語となっています。春になると、鳴くはずのないカメすら鳴いているかのように、たくさんの生き物たちがぞろぞろ姿を現しているよ、という意味で、待ち遠しかった春の訪れを表しています。

カメ好きな方はもちろん、カメはどうも・・・という方も、暖かい春の訪れをじっと待っているカメの気持ちに通じるものは、どなたにもあるのではないのでしょうか。

なお、子ども動物園には冬眠をしないアルダブラゾウガメとケヅメリクガメもいますので、是非ご覧になってください。  
(子ども動物園担当 並木美砂子)





# 動物公園の 植物

最近では、正月の門松やお飾りをする家がめっきり少なくなってきました。何となく味気ない思いがします。お飾りなどに使われる植物には、それぞれ意味があって使われていますので、その植物材料と由来などについて調べてみました。

まず、最初に「ユズリハ」(譲葉)ですが、園内でも見られ、新しい葉が成長してくると古い葉が落ちるため、親から子へ代々譲って子孫が長く続くことを願われています。ちなみに、葉の基部が赤っぽくなっているのが特徴的ですが、何かめでたい意味合いがあるのかもしれない。

次が「ウラジロ」(裏白)です。常緑のシダ植物です。葉をよく見ると表は緑ですが、裏側が白っぽいのが特徴です。このことからウラジロと呼ばれます。「裏を返しても心は白い」と言った潔白性や、白髪になるまでの長寿を表すことから使われています。残念ながら園内では見られません。

次は、庭で見かけるミカンの仲間の「ダイダイ」(橙)です。鏡餅の上にしっかり座っているようです。代々

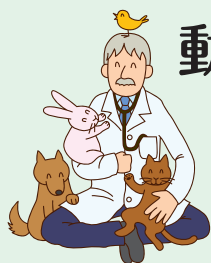
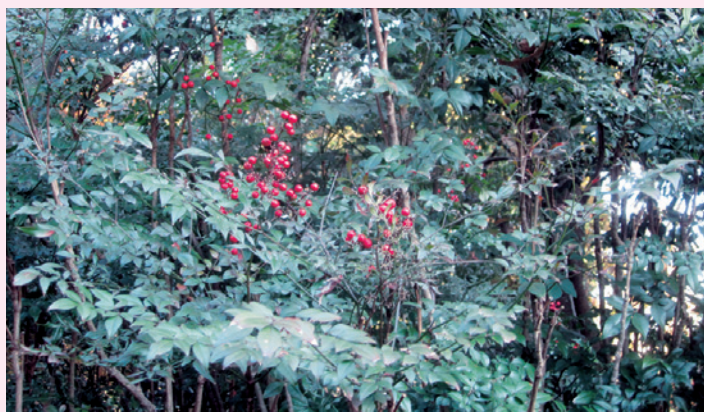
## お正月の植物

家が続くと言う語呂合わせの縁起のよい植物として使われています。果実は晩熟で、寒くなってから橙色に熟しますが、そのままにしておくと、翌年の夏に緑色の生まれただのような色に戻ります。また、三世代の果実が同時に実をつけることから長寿のしるしとして親子代々めでたいものとされています。

このほかにも、めでたい植物としてマンリョウ(万両)センリョウ(千両)、これらに対し、十両と呼ばれるヤブコウジがあります。また、福を呼ぶとされる「フクジュソウ」などもあります。

また、植物だけでなく、「松に鶴」など動物と組み合わせることによって縁起の良いものもあります。さらに、難を転するとされる「ナンテン」も縁起物で、当園でも見るができます。

(管理課担当課長 若竹啓二郎)



## 動物病院から

「飼育係によるお楽しみ DAY」～ WAKUWAKU ガイド～は、月に一度開催している参加人数限定の人気イベントです。毎回違った動物を間近で観察したり、バックヤードを見学します。今回は「動物病院」でのお話です。

動物病院に入院している動物は、体調の良くない動物や、来園したばかりの、健康状態を確認している検疫中の動物達です。このような動物達には接近できませんし、病院内の施設見学だけでは退屈でしょうから、今回は、施設見学+レントゲン写真とテンジクネズミを使った骨格のお勉強タイムをもうけることにしました。テンジクネズミはモルモットとも呼ばれる体長 30cm ほどの哺乳類です。普段は子ども動物園内で飼育され、お客様はコンタクトコーナーで彼らとふれあうことができます。体が小さく、1枚のレントゲン写真で全身を写すことができるので、以前撮ったレントゲン写真と、テンジクネズミ3頭、解剖学の教科書に載っている骨格図を用意しました。そして私たち人間の体。これらの「骨」を見て、体の上から触って感じて、自分の体と比べ、一つ一つ確認しながら、人間とテンジクネズミの骨格の違いを確認しました。テンジク

感じてみよう  
動物のホネ、わたしたちのホネ

ネズミの「ひじ」はどこかな? 「足首」はどこかな? などなど。小さなお子様にとっては少し難しい内容となってしまいましたが、参加者の皆様からは積極的な発言も多くあり、よろこんでいただけたようでした。

中には、獣医師になりたいといってくれるお子様もいてうれしい限りです。動物公園における獣医師の役割、そして多岐にわたる仕事内容(診療行為はもちろん、飼育作業や、エサの配達もすることがあります)についてもお話をさせていただきました。

「飼育係によるお楽しみ DAY」～ WAKUWAKU ガイド～は月に1度実施する予定ですので、是非ご参加ください。

動物公園のバックヤード、のぞいてみませんか?

(子ども動物園診療担当 宮崎沙都)





# 動物公園 diary

10月 6日 レッサーパンダ親子、一般公開



6日 「飼育係によるお楽しみ DAY」開催  
(アミメキリン編)

7日 科学フェスタ(千葉市科学館にて)

8日 カリフォルニアアシカ給餌Box再開

13日 「飼育担当者のちょっといい話」  
(アカハナグマ編)



14日 「Jazz Band with プチグルメ」開催

18~21日 「市民の日」記念事業 無料開放

20・21日 市民の日協賛「クイズラリー」開催

20日 ちば生きもの科学クラブ開催

22日 ニホンヤモリ展示開始

28日 紙芝居会

11月 1日 レッサーパンダ命名選定委員会開催

9日 ミナミコアリクイ出産

9日 シロガオマーモセット出産

10・11日 ちば ZOO フェスタ 2012 開催



10日 レッサーパンダ命名 雄「源太」、雌「風菜」



12日 ニホンザル(ホンドザル)全頭  
破傷風予防接種実施



13~15日 職場体験受入(土気南中)

14~16日 職場体験受入(泉谷中)

17日 「飼育係による  
お楽しみ DAY」  
開催(ウマ編)



19日 キジ類、猛禽類全羽ニューカッスル予防接種実施

23日 動物からの年賀状受付開始

24日 「飼育担当者のちょっといい話」(ムフロン編)



## ありがとう 安らかに・・・

(死亡した主な動物)

ムフロン(エミ：雌)

1994年 4月 6日誕生～2012年10月 3日

ルリコノハドリ

1999年 5月25日来園～2012年10月 25日

ニホンリス

2004年 3月30日来園～2012年11月 1日

アメリカオシ

2011年 6月11日誕生～2012年11月 8日



## これからの催し物

### ●ちょっといい話

2月 9日(土) 13:00～ 水禽  
3月 9日(土) 13:00～ ニシゴリラ

### ●飼育係によるお楽しみ DAY

1月 19日(土) 13:15～ ニホンザル  
2月 16日(土) 13:15～ マレーバク  
3月 16日(土) 13:15～ 夜行性動物

### ●バレンタインプレゼント

2月9日(土)、10日(日)

### ●バレンタインデー chokoっとトーク

(仲睦まじい動物たちの紹介)

2月9日(土)～17日(日)

その他、婚活、コンサート等を予定しています。日程が決まり次第、「ホームページ」「市政だより」等でお知らせします。

## ツイッターのお知らせ

動物公園の“今”を日々つぶやき中。現在フォロワー数は2,600を超えています。

千葉市動物公園 公式 Twitter アカウント @ChibaZoo

## 動物公園サポーターの募集

サポーター制度にご協力をお願いします。皆様からの会費は動物のエサ代、獣舎の整備費などの一部に充当させていただきます。

会費 個人サポーター 1口 1,000円以上  
法人サポーター 1口 10,000円以上

[登録] サポーター申込書に必要事項を記入し提出して下さい。

### 特典

- 1 当園オリジナルグッズのプレゼント(新規入会の場合)
- 2 招待券プレゼント
- 3 サポーターズデーへのご招待
- 4 動物公園に関する情報のご提供

## インフォメーション

- ・開園時間 9:30から16:30(入園は16:00まで)
- ・休園日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月1日)
- ・入園料 大人500円、小中学生100円、小学生未満無料(団体割引 有料人数30名以上で2割引)
- ・駐車場 普通車500円、大型車2,100円(閉門時間17:00)
- ・<http://www.city.chiba.jp/zoo/>

**年間パスポート 大人 2,500円、小中学生 500円**

### 2012年11月末現在の飼育数

Classified number of animals as of 30, Nov. 2012

|                 |                |                   |                   |                |                   |
|-----------------|----------------|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|
| 哺乳類<br>Mammalia | 63種<br>Species | 508点<br>Specimens | 鳥類<br>Aves        | 72種<br>Species | 304点<br>Specimens |
| 爬虫類<br>Reptilia | 7種<br>Species  | 34点<br>Specimens  | 両生類<br>Amphibia   | 1種<br>Species  | 2点<br>Specimens   |
|                 |                |                   | 魚類<br>Pisces      | 1種<br>Species  | 1点<br>Specimens   |
| 総計<br>Total     |                | 144種<br>Species   | 849点<br>Specimens |                |                   |